



自立と貢献

日高市立高麗川中学校
学校だより No.3
〒350-1205 日高市原宿49番地
TEL 042-989-1158
生徒数413名
令和8年6月1日 校長 久米隆寛

運動が中止になる基準

今年も熱中症が心配される季節となりました。熱中症は、予防法を知っていれば防ぐことができます。学校生活における予防は、脱水と体温の上昇を抑えることです。

脱水は、こまめに水分を補給することで、体温の上昇は、冷房を使ったり、発汗により熱を体外へ逃がしたりすることで防ぎます。

しかし、予防できるとは言っても、熱中症が命に関わる病気であることに変わりありません。今年度も体育の授業や部活動をとおして、暑さに負けない体づくり(暑熱順化)を推進し、熱中症を予防していきます。

日高市の小中学校では、暑さ指数(WBGT)が31℃以上、または、気温35℃以上の場合、運動は中止です。6月11日から学総入間西部大会が開催されます。3年生にとっては最後の大会となりますが、この基準を超えた場合は練習を中止します。あらかじめご承知ください。

参考：熱中症を防ぐには(環境省HP)

地域学校協働活動

5月3日、地域学校協働活動推進員の加藤邦宏さんら有志の方々に、今年度初の地域学校協働活動として、学校の外壁をペンキで新しく塗り直していただきました。当日は、学校運営協議会の栗原正仁会長をはじめ、保護者のみなさまや小学生まで22名ものボランティアにご尽力をいただきました。おかげさまできれいな壁に生まれ変わりました。‘学校のために’というお気持ちがうれしいです。心から感謝申し上げます。

小中一貫教育校の取組

本校が施設分離型の小中一貫教育校としてスタートして2年目となります。児童と生徒の交流だけでなく、先生方も定期的に小中合同で研修を行っています。5月25日、救急救命士の資格のある高麗川小の櫻井先生を講師に迎え、校内で生徒が意識を失った場合を想定した実践的な訓練を行いました。AEDの使い方はもちろん、現場を見た生徒がパニックにならない配慮や倒れた生徒のプライバシー保護など、救急車が到着するまでに教員が行うべき行動を実際に行い確認しました。今後、小中一貫校として教育課程の編成などにも取り組んでいきます。

よい結果はよい準備から

6月は多くの行事があります。3年生修学旅行、1・2年生校外学習、生徒総会、各種大会、期末テストなど、これらの行事は、前向きに捉えれば、自分の力を伸ばすチャンスと言えます。

このチャンスを生かし、自分を成長させられるかどうかは、毎日の過ごし方にかかっています。

毎日をどう過ごせばいいか、それは、毎日の授業を集中して受けることです。毎日の部活動に全力で取り組むことです。簡単なようですが、なかなかできることではありません。

日々私たちは、「やる」か「やらない」かを積み重ねています。ほんの少しずつ努力を続けることで、わからなかった授業の内容がわかるようになったり、できなかったことができるようになったりします。継続することが力になるのです。

さらに、目標から逆算して毎日の生活をコントロールできたら、より目標達成率が高まります。

高麗川中生には、目標を決めて、「やる」を毎日積み重ねる人になってほしいと願います。人は弱いですが、その弱さを克服する強さももっています。「よい結果」は「よい準備から」です。



【外壁ペンキ塗り】



【小中合同救急救命講習会】